

2022 年度 教育 研究 活動 報告 用 紙 (様式 9)

氏名 南里 宏樹	職名 嘱託教育職員	学位 博士 (医学) (九州大学 1983 年)
----------	-----------	--------------------------

研究分野	研究内容のキーワード
基礎栄養学 栄養代謝学 生化学 細胞生物学	活性酸素 酸化ストレス 抗酸化防御機構 糖毒性 糖化タンパク質 血管内皮細胞

研究課題
栄養が健康に及ぼす影響を、おもに活性酸素による酸化ストレスと高血糖による糖毒性に注目して、生化学・細胞生物学的手法を用いて解析する。特に、高血糖による血管内皮細胞の機能障害を、活性酸素に対する抗酸化防御機能との関連において検討する。

担当授業科目
基礎栄養学Ⅰ (1年生後期) 1クラス 基礎栄養学Ⅱ (2年生前期) 2クラス 栄養学実習 (2年生後期) 2クラス 管理栄養士演習Ⅰ (4年生通年; 分担)

授業を行う上で工夫した事項 (※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項)
<p>授業科目名【 基礎栄養学ⅠおよびⅡ 】</p> <p>基礎栄養学は、化学を苦手とする学生が多いため、関連の深い生化学と関連づけながら講義した。講義の始めに前回の講義内容を簡単に復習し、全体の流れが分かるように留意した。講義で使用したスライドは、すべて印刷して配付した。また、基礎栄養学の重要項目の練習問題集を配付し、授業の終わりに5分程度、その日の講義内容に関する練習問題を学生に答えさせるようにした。管理栄養士国家試験の過去問題(2000年～2022年)の解説集も配付し、日ごろの予習復習に役立つようにした。</p> <p>今年度の基礎栄養学Ⅰ(1年生後期)およびⅡ(2年生前期)は、新型コロナ感染がある程度落ち着いたため、すべての授業を対面で実施した。ただ、基礎栄養Ⅱの最後の授業のみ、わたしが濃厚接触者になったため、急遽、いつも使っている教室のスクリーン上にオンラインでスライドを映せるように教務課で手配していただき遠隔で実施した。</p>
<p>授業科目名【 栄養学実習 】</p> <p>今年度は、すべて対面で実施したが、実習によっては、学生自身が測定するのではなく、教員が実際の測定のやり方をデモで示したり、測定の実施者を各班で一人に絞ったりして、実習中の”密“、“会話“をできるだけ少なくするようにした。そのため、実習の目的の一つである共同作業という点では、必ずしも十分な成果が上げられなかった。それぞれの実習について、その栄養学的意義について考えさせるためのレポートを課し、1, 2年次の基礎栄養学の復習ができるようにした。</p>
<p>授業科目名【 管理栄養士演習Ⅰ 】</p> <p>8人の教員が分担する栄養学科4年生のための演習で、「基礎栄養学」分野と「応用問題」分野を担当した。2011年～2021年の基礎栄養学に関する管理栄養士国家試験の問題について、分野別に分類し、分野ごとに10～11年分の問題をまとめて解くやり方で演習を実施した。その際、問題に関連する周辺事項を幅広く理解させるため、問題についての詳しい解説や重要事項をまとめたプリントを配布した。演習と自主講義と併せて、前期10回(うち自主講義8回)、後期8回(うち自主講義6回)実施した。また、夏休み期間中に夏期対策を3日間(4コマ)、後期終了後、国試までの間に直前対策を2日間(2コマ)実施した。</p>

学 会 に お け る 活 動		
所属学会等の名称	役職名等 (任期)	加入時期
日本生化学会 日本栄養・食糧学会 日本栄養改善学会		1977年4月より現在に至る 2003年5月より現在に至る 2014年1月より現在に至る

2022年度 研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
(著書)				
(学術論文)				
(翻訳)				
(学会発表)				

外部資金 (科学研究費補助金等) 導入状況 (本学共同研究費を含む)			
(1) 共同研究			
研究題目	交付団体	研究者 ○代表者 () 内は学外者	交付決定額 (単位:円)

外部資金 (科学研究費補助金等) 導入状況 (本学共同研究費を含む)			
(2) 個人研究			
研究題目	交付団体	交付決定額 (単位:円)	備 考

社 会 に お け る 活 動 等		
団体・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等	任 期 期 間 等

学 内 に お け る 活 動 等 (役職、委員、学生支援など)
大学嘱託教育職員 (栄養学科) (2022年4月1日~2023年3月31日)